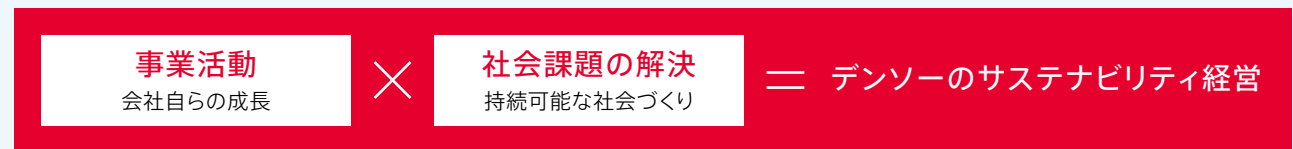


# 受け継がれるサステナビリティ経営

社は、特に「最善の品質とサービスを以て社会に奉仕す」を原点として、デンソーは創業当時から事業を通じて社会課題を解決することへの挑戦、つまり、サステナビリティ経営を実践し、環境・安心を軸として社会に新たな価値を提供し続けてきました。

時代が変わってもこの社はの精神を受け継ぎ、サステナビリティ経営を実践し続けるため、「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めるとともに、社会課題を当社の2030年長期方針、優先取組課題(マテリアリティ [P.36-37](#))に落とし込み、事業活動を通じてその解決に取り組んでいます。ここでは、サステナビリティ経営の実践に向けた推進体制や具体的な取り組みなどについて紹介します。



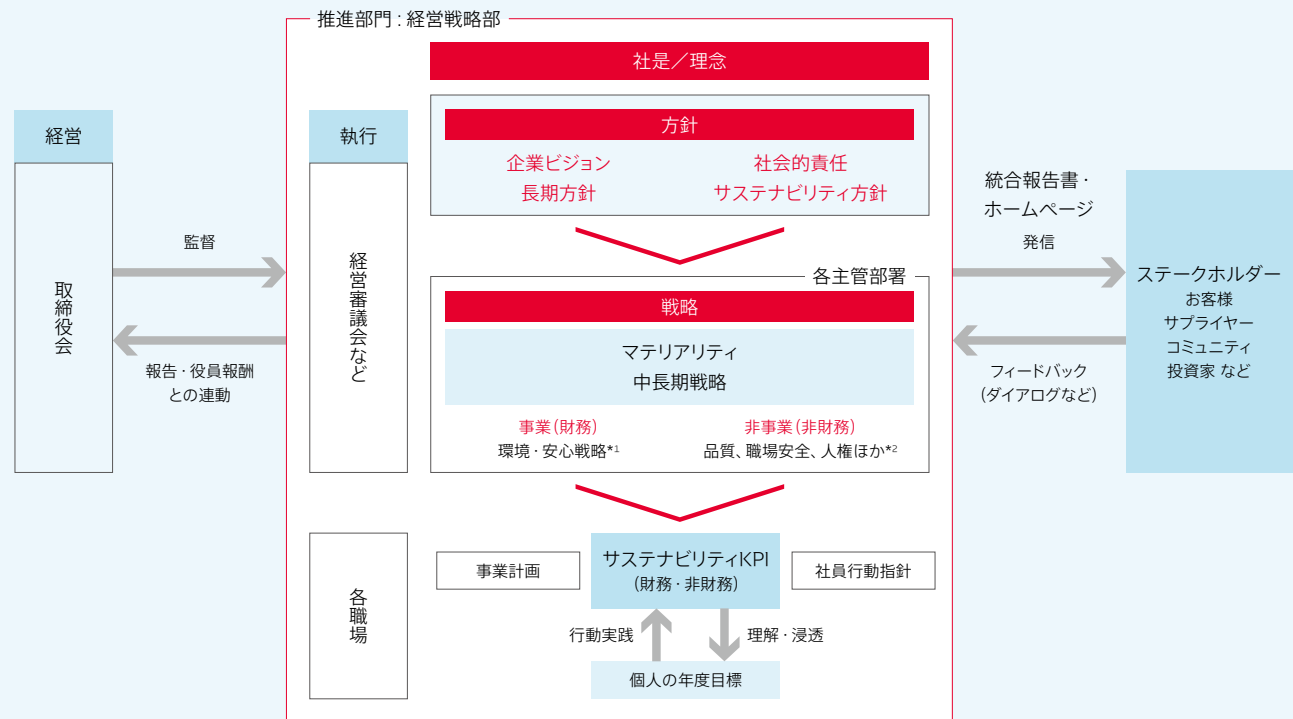
## サステナビリティ経営の推進体制

経営戦略本部を担当する役員(取締役副社長)を統括責任者として、経営戦略本部が全社のサステナビリティ経営推進機能を担っており、方針や活動計画の立案、各部門の活動支援・フォローアップ、社内外コミュニケーションなどを行っています。

サステナビリティ経営の方向付けや全社活動状況のフォローアップなどは、取締役会監督のもと、会社の公式会議体(経営審議会など)で審議・報告を行っています。また、個別のサステナビリティテーマについては、主管部門が各専門委員会(審議を受け、関係部門と連携して活動を推進しています。

なお、職場におけるサステナビリティ浸透の牽引役として、(株)デンソーでは各部門1名、国内グループ会社は各社1名、海外グループは各地域統括会社1名のサステナビリティリーダーを選任し、サステナビリティの浸透・定着・情報発信を図っています。

## デンソールのサステナビリティ経営マネジメント体系、推進部門



\*1. 経営審議会/経営戦略会議(P.100)にて戦略審議

\*2. 品質保証会議、全社安全衛生環境委員会など主管部門が事務局となり、公式会議体にて方針審議

「デンソーグループ サステナビリティ方針」はこちらをご覧ください。  
<https://www.denso.com/jp/ja/-/media/global/about-us/sustainability/management/management-doc-sustainability-policy-ja.pdf>



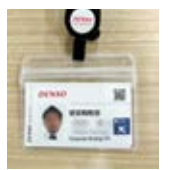
## TOPIC

サステナビリティ経営の実践をさらに加速させるため、デンソーグループでは以下のような取り組みを行っています。

会社・経営層	サステナビリティKPIを設定し、会社目標として進捗フォロー <a href="#">P.36-37</a> サステナビリティKPIの達成状況の役員報酬評価指標への組み込み <a href="#">P.104-106</a>
社員	一人ひとりが業務を通じてサステナビリティを実践し、自分で語ることができるように、デンソーグループの各地域・各社が、それぞれの文化・風土を踏まえた効果的な社員啓発・情報発信を推進。

### 事例 1: コミュニケーションシート(個人業務目標)×SDGs×社員証(日本他)

年間の個人業務目標を設定するにあたり、自分の業務がどのSDGs目標に貢献するのかを考えるとともに、その目標のアイコンを社員証や名刺などに表示しています。それにより、自分自身が設定したSDGs目標をいつでも振り返ることができ、さらには周りの仲間にも共有することで、折に触れてSDGsへの貢献について語るきっかけとしています。



### 事例 2: 私とSDGs小作文コンテスト(中国)

社員一人ひとりが自分の仕事とSDGsのつながりを考えるにあたり、中国地域全体の社員から「私とSDGs」というテーマで小作文を募集しました。約500件もの投稿が寄せられ、その中から最優秀賞・優秀賞を選出し、表彰するとともに、SDGsと業務のつながりを考える上での参考としてもらうため、中国地域に限らず社内イントラネットを通じてデンソーグループの社員と共有しました。



### 事例 3: 域内グループ会社へのキャラバン活動(欧州)

複数の国にまたがって事業を展開している欧州グループでは、理念を共有するため、まずは欧州グループ各社のトップを対象として、SDGs大使やSDGs専門家によるプレゼンテーションなどの説明会を実施。また、欧州統括拠点長によるSDGs紹介ムービーを作成して共有するとともに、欧州統括拠点のサステナビリティリーダーなどが各社を巡ってワークショップを開催し、サステナビリティ経営の浸透を図りました。



## MESSAGE

### 社員一人ひとり×サステナビリティ 私の仕事を通じて実現するサステナビリティ



モノづくりにおけるカーボンニュートラルを実現し、サステナブルな社会をつくりたい  
安全衛生環境部  
塩谷 友佑

私は、モノづくりにおけるカーボンニュートラル実現に向けたエネルギー戦略の立案・推進を行っています。最も安価、かつ安定的な再生可能エネルギーの調達は、競争力とCO<sub>2</sub>排出量削減の両立を実現し、その結果、会社の発展につながるという点に大きなやりがいを感じています。デンソーの競争力を確保しつつ、社会全体がサステナブルに成長できるようなカーボンニュートラルを目指しています。



自動運転の普及を通じて、多くの人の命を救うことが誇り  
セーフティ車両システム技術部  
眞木 菜奈美

私は、GSP(Global Safety Package)と呼ばれるドライバーの運転支援・クルマの安全性能向上に貢献する製品のインターフェイスとなる部分の仕様開発などを担当し、高い品質で世に送り出すことをミッションとしています。自分の仕事が自動車による事故を削減することに直結し、たくさんの人の命が救えるということが、大きな誇りです。